

## 時計台記念病院・時計台記念クリニックを受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。研究への協力を希望されない場合は、下記お問い合わせ先までお知らせください。その場合でも、患者さまに不利益が生じることはありません。

※単施設研究用

研究課題名	当院通所・外来リハビリテーションを利用している脳卒中片麻痺者の、退院時から現在までの在宅期間に生じた足関節機能の変化について
当院の研究責任者	所属：理学療法科 氏名：小田 猛
研究期間	倫理委員会承認後 ～ 西暦 2020 年 7 月 31 日
研究の意義・目的	<p>リハビリの際に制作される装具の多くは退院後も利用するものです。スタッフが装具を製作する際には、将来起こり得る足の変形や筋の緊張の変化を考慮した上で、最適な装具を製作する事が必要になります。</p> <p>片麻痺を発症した方は、退院後において足関節が固くなる等の機能低下を生じやすいと言われていますが、退院後にリハビリを継続している方が同様に足関節の機能低下を生じているのかはよく分かっておりません。本研究では、退院後のリハビリの継続が足関節機能に及ぼす影響を知る事を目的とします。装具を製作する際に、適切な装具を選択する為の判断材料の一つとして役立つと考えています。</p>
研究方法	<p>《対象となる患者さま》</p> <p>2008年3月1日以降に当院を退院し、当院の通所・外来リハビリテーションを利用している、または利用していた脳卒中の方が対象です。</p> <p>《利用する試料・情報》</p> <p>退院時と、一番直近にリハビリの測定で得た検査結果を用います。</p> <p>《研究方法》</p> <p>退院時と直近の足関節機能を統計手法によって比較し、機能変化の有無・程度を検討します。</p>
個人情報の取り扱い	<p>個人情報が入ったデータにはパスワードをかけ、厳重に保管します。また、紛失など起こさないよう、データ保管する場所を一定にして管理します。</p> <p>発表にあたり、個人が特定されるようなデータは公表致しません。</p>
その他 (利益相反等)	公開すべき利益相反関係にある企業などはありません。
お問い合わせ先	照会先および研究への協力を拒否する場合の連絡先 社会医療法人 社団 カレスサッポロ 時計台記念病院 担当者：医事課 鈴木 〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東1丁目2番3号 ☎ (011) 251-1221